

さくら



令和6年5月20日(月)

坂本龍馬(さかもとりょうま)



昔から歴史の勉強は苦手でした。まず、人の名前や年号を覚えることが苦手。同じような人物名が並べばお手上げです。だから歴史小説はほとんど読んだことがありません。

こんな私でも、おもしろいと感じた歴史小説があります。「龍馬(りょうま)がゆく」[司馬遼太郎(しばりょうたろう)著]です。

龍馬とは坂本龍馬のことです。多くの人が名前くらいは知っているでしょう。現在の龍馬像は、この小説に大きな影響を受けています。それでは何をした人でしょうか。

一言で表せば、江戸幕府を倒すきっかけを作った人。江戸末期、幕府は外国の要求を拒絶する力が無く、国内をまとめる力も弱くなっていました。しだいに、この幕府では日本を守れないと考え、幕府を倒して天皇を中心とした国家が必要だと考える人が出てきました。龍馬もその一人でした。

龍馬は幕府をなくすために奔走します。まず大きな力を持っていた薩摩藩と長州藩の同盟を成功させます。薩摩藩と長州藩は、武力をもって幕府を倒そうと考えました。しかし、龍馬は武力行使は最終手段だと考え、「大政奉還」を土佐藩に提案。土佐藩は徳川慶喜(よしのぶ)にこれを進言。慶喜もこれを受け入れ江戸幕府はなくなりました。

龍馬がこのような偉業を成し得たのは、徹底して次のような実践ができていたからだと思います。

- ・立場や考え方の違う人の意見にも耳を傾け、良い所を吸収した。
- ・不可能を可能にする行動力をあった。
- ・いつも未来への展望を描いていた。
- ・人との関わりを大切にし、幅広い人脈があった。

歴史上の偉人に学ぶところは多くあるのではないでしょうか。龍馬に興味が湧いたなら、「龍馬がゆく」を読んでみてください。人生観が変わるかもしれません。

学校ホームページで、日々の教育活動のようすを公開しています。どうぞ、本校ホームページを閲覧してください。

